

No. 1631

# ソ連大統領来春初来日

—— 日・ソ会談 ——

第10回日ソ外相定期協議に出席するため来日したソ連のシュワルナゼ外相は9月6日首相官邸に海部首相を訪問し会談しました。

ソ連側はゴルバチョフ大統領からのメッセージとして「大統領の初訪日を来年4月中旬に希望していること」を伝えました。海部首相は大統領の来日を歓迎する意向を示しました。ソ連大統領の来日が、日ソ関係の最大の障害になっている北方領土、平和条約締結問題の解決の端緒となるかどうか、注目されるところです。

# 熱心に防災訓練

—— 横浜 ——

「防災の日」の9月1日、南関東を中心に1都9県で、1300万人が参加して、東海地震を想定した総合防災訓練が行われました。

横浜市鶴見区の大黒埠頭では、東京都、神奈川県など6都県市の合同訓練が展開されました。

14キロ離れた磯子区の住民650人が、巡視船を利用して大黒埠頭岸壁に避難。

会場では地元市民による応急救護の訓練。三角巾を使っての応急手当てに懸命です。

ヘリコプターが医薬品、食料品の輸送やロープを吊るしての人命救助に大活躍。

道路で事故を起こした自動車の排除作業を含めて、立体的な救助訓練が目立ちました。

海部首相も視察のため参加。

わが国には全世界の活火山の約一割に当たる77の活火山が分布しています。

災害はいつ起こるかわかりません。

日頃から、災害時にどう行動するのか、何を備えておくのか、十分考えておきたいものです。